

令和2年度岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 機関評価結果票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 人	優れている 5人	妥当 1人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 概ね県民や社会のニーズに基づいたテーマで研究を進めていると思われませんが、変化する社会のニーズをしっかりと捉え、社会に向けての研究発表に取り組むことが必要と感じました。 また、他の都道府県にまねのできない革新的技術とは何かを、もっとアピールして県内外に発信してほしい。 2. 5期目の中間評価として組織面から見ても発足当時のビジョンから変わっていることもあり、その中で限られた人材・予算の中で、定められた方針とその内容について問題はないと思います。 3. 県内の他の研究所と連携を強化して、さらに県産品のブランド力アップに貢献していただきたい。					
2 組織体制及び人員配置並びに予算配分	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 1人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 概ね妥当である。ぜひ清水白桃の全ゲノム解読をして、そのおいしさの秘密を解明してほしい。 2. 限られた人員で効率的に運用されているものと思います。特に研究者についてはモチベーションを上げるための制度・仕組み・予算取りについて、研究者個々のノウハウに加えて、組織全体で外部発信をどうするのが効果的か、我々評価委員も協力することがあればと思います。 3. 意義ある研究が続けられている。県のブランド力をアップするエビデンスになる研究は重要であることから、予算の増額が望まれる。 4. 外部資金獲得の努力がみられる。研究員は、研究に専念できてこそ、良い研究ができると思われるので、研究環境を作るのは、県の責務ではないかと思われる。					
3 施設・設備等	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 外部委託を利用しつつ、老朽化した設備を利用されていると思う。保守費用を抑えるため、今後も分析や解析等について外部委託の利用を増やすことが必要と思う。 2. 限られた予算内で、工夫をされながら整備されているように思いました。 大きな投資になる案件などについて、また現状の施設・設備の更新については、要望を常に出し続けることが必要かと思えます。					
4 研究成果	非常に優れている 2人	優れている 4人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 多くの製品が開発され、高く評価できる。一方で、レベルの高い雑誌への論文の掲載が少ない。両立することは難しいが、研究所としての価値を高めるために、論文の質も重視すべきである。 2. 概ね県や社会のニーズに対応した研究を進め、学会発表や論文発表を積極的に行っていると思います。 3. 研究成果がどのように実用化されるのかがわからない。県内の様々な機関を通じて栽培農家へ早急に届くようシステム化、情報発信手段の設置が不可欠である。					
5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、依頼試験、情報提供等所掌業務の実施状況	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 技術相談・指導や依頼試験など、貴研究所で何が還元できるかを県内企業等に広報し、産学連携をもう少し積極的に進めてもよいのではという印象を受けています。 2. 農林水産総合センター内で、本研究所の業務目的は、他の部署とは異にしていると思われるので、センター全体での役割分担をし、県民にわかりやすい評価を行うことが肝要と思われる。 3. 他機関や研究員が連携できるような仕組みとして、コーディネーターの配置が必要だと思われる。					
6 人材育成	非常に優れている 人	優れている 5人	妥当 人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 当研究所の将来を背負う研究者養成のシステム化を望む。 2. 研究者の育成のためにも、まず若手の研究者を募集すること、そして希望者が増えるような施策は、予算面も含めて考えられないでしょうか。 3. 人材育成は研究所の本務ではないと思うので、評価対象にすべきか、考える必要がある。					

7 他機関との連携	非常に優れている 1人	優れている 4人	妥当 人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 農林水産総合センター内での連携や県内大学や企業とさらに共同研究を進めて、岡山県ならではの研究成果が世に出ることを期待しています。 2. 現場への技術の活用面での連携（農家やセンター内での連携等）と研究面（大学や他の公設試との連携）をうまく分けて広報されると良いと思います。 3. 植物相手に各研究に時間を要するので、今後とも他大学、企業等との連携強化に期待する。 4. 県他部署との連携をうまく図ることで、情報発信などがスムーズに行えると思う。					
8 県民・地域への貢献	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 人	見直しが必要 2人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 技術相談、シンポジウムの開催などを通じて、県民・地域に貢献していると言えるが、よい研究成果を上げることは何よりの貢献だと思う。 2. 遺伝子マーカーによる育種は本県桃生産に与えるインパクトが非常に大きい。グルタチオン肥料も評価は高いが、県内の取組をもっと広報できるとさらに良い。 3. 生物科学研究所の存在自体が、県民にはまだあまり認識されていないため、その貢献についても認識が薄いように感じます。研究所自体をコストと考えるか、岡山県として将来の投資と考えるか、後者にするため、今一度、広報をどうすれば良いか検討してはどうかと思います。 4. 研究成果などは県民や地域に還元されており、優れているが、その情報が上手く発信されていないのが現状ではないかと思われ、残念である。					
9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 確実な対応をされていると評価できる。 2. 指摘されていた事項について、概ね対応・改善されていると思われるが、予算の関係で対応できていない点があり、残念である。					
総合評価	非常に優れている 人	優れている 6人	妥当 人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
助言、指摘事項等 1. 多くの外部資金を獲得し、また肥料や活性剤などを開発して、少ない人員の中で、多くの成果を上げている。今後は特色ある研究を引き続き行い、かつ科学的裏付けのある製品の開発を行ってほしい。 2. いずれのグループの研究も社会に貢献できる素晴らしい成果を出されていると思います。研究成果を学術論文で世界に発信すると同時に岡山県にも貢献できることも求められていますので、時として両立することは困難で、研究者としてのジレンマも理解できます。変化する県や社会のニーズを把握することも大事かと思われしますので、県内で成果発表を今以上に積極的に行い、県民との意見交換などを開催しながらニーズを把握することも大事かと思いました。その点で広報手段も検討し、一方で県庁職員や県議会議員の方々にも知っていただくことも良い手段の一つかもしれません。研究所を有している都道府県もそんなに多くないと思いますので、その利点を活かして、岡山県発の研究成果、技術を世に発信していただくと同時に、今まで以上に県内の子どもたちなど次世代に研究の面白さを積極的に伝えていくことも考えていただきたいと思います。一県民として貴研究所の今後の発展を期待しています。 3. 最先端の研究を優しく伝えられる人材（コーディネーター）を設置し県の研究事業や技術開発事業をうまく広報していくことが望まれる。 4. 岡山県として、産業振興と教育を事業の二本柱としていますが、産業振興として、現状は自動車産業が経済規模の大きさから存在感があるが、今後の、他県より充実している医療分野とも関連する健康産業その中でも、食に関する分野に注力するためにも、この生物科学研究所の存在とその価値をアピールする必要があります。 5. 岡山県の特産品としての桃や黄ニラのブランド力アップに貢献できる研究がなされているが、情報発信に工夫がされると、さらにアピールできると思う。					